

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月23日(2018.8.23)

【公開番号】特開2018-54047(P2018-54047A)

【公開日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-013

【出願番号】特願2016-192107(P2016-192107)

【国際特許分類】

F 1 5 B 21/14 (2006.01)

E 0 2 F 9/22 (2006.01)

F 1 5 B 11/02 (2006.01)

【F I】

F 1 5 B 21/14 B

E 0 2 F 9/22 M

F 1 5 B 11/02 V

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月10日(2018.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

上記目的を達成するために、代表的な本発明は、供給される圧油で作動する油圧アクチュエータと、前記油圧アクチュエータからの戻り油を貯留するタンクと、前記油圧アクチュエータから排出された圧油を前記タンクに向けて流すための流量制御弁と、前記流量制御弁から前記タンクに向かって流れる圧油を蓄圧する蓄圧器と、を有する作業機械の油圧駆動装置において、前記油圧アクチュエータと前記蓄圧器との間に配置され、前記流量制御弁の前後差圧を一定に制御するための第一の圧力補償弁と、前記蓄圧器と前記タンクとの間に配置され、前記流量制御弁および前記第一の圧力補償弁を含めた前後差圧を一定に制御するための第二の圧力補償弁と、を備え、前記第一の圧力補償弁に設定された第一の目標差圧が、前記第二の圧力補償弁に設定された第二の目標差圧以下であることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

供給される圧油で作動する油圧アクチュエータと、前記油圧アクチュエータからの戻り油を貯留するタンクと、前記油圧アクチュエータから排出された圧油を前記タンクに向けて流すための流量制御弁と、前記流量制御弁から前記タンクに向かって流れる圧油を蓄圧する蓄圧器と、を有する作業機械の油圧駆動装置において、

前記油圧アクチュエータと前記蓄圧器との間に配置され、前記流量制御弁の前後差圧を一定に制御するための第一の圧力補償弁と、

前記蓄圧器と前記タンクとの間に配置され、前記流量制御弁および前記第一の圧力補償弁を含めた前後差圧を一定に制御するための第二の圧力補償弁と、を備え、

前記第一の圧力補償弁に設定された第一の目標差圧が、前記第二の圧力補償弁に設定された第二の目標差圧以下であることを特徴とする作業機械の油圧駆動装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の作業機械の油圧駆動装置において、

前記第一の圧力補償弁は、前記流量制御弁より前記油圧アクチュエータから排出された圧油の流れの上流側に設けられ、

前記第二の圧力補償弁は、前記第一の圧力補償弁の上流圧と前記流量制御弁の下流圧との前後差圧を一定に制御することを特徴とする作業機械の油圧駆動装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の作業機械の油圧駆動装置において、

前記第一の圧力補償弁に設定された第一の目標差圧と前記第二の圧力補償弁に設定された第二の目標差圧とが等しいことを特徴とする作業機械の油圧駆動装置。

【請求項 4】

請求項 1 記載の作業機械の油圧駆動装置において、

前記第一の圧力補償弁は、前記流量制御弁より前記油圧アクチュエータから排出された圧油の流れの下流側に設けられ、

前記第二の圧力補償弁は、前記流量制御弁の上流圧と前記第一の圧力補償弁の下流圧との前後差圧を一定に制御することを特徴とする作業機械の油圧駆動装置。